

○1 回目のプロジェクト会議を経て、2 回目のプロジェクト会議を 8 月 23 日 1 時 30 分から個別学習室Bで実施した。以下にその時の会議録を示す。

※前回の議論を受けて、今回は、制服の後半部分(設問2)の協議を行った。前半については、前の報告書のとおりであり、性の多様性を鑑み、スカートとスラックスを選択制にしていくこと。また、業者にスラックスの見本を持ってきてもらい、試着して、その中から選択して決定していくこと。であった。

今回の後半(設問2)については、その他の意見について議論していく。たとえば、靴下、靴、セーターなどの規定や、私服についてなどである。

## 1 前回の議論の経緯

### (1)設問2についての意見<性の多様性以外の制服に関する意見>

- ・どの生徒も自分の着たい服を選べるようにもっと自由になったら良いと思います。そうすれば今までの制服が嫌だった人も服装を気にせずに授業を受けることができたり、今までより過ごしやすくなったりして制服が嫌だから学校に行きたくないという思いの人が少なくなると思います。
- ・みんな同じにするのではなく、個性を尊重した制服にしたほうが良いと思う。なぜなら、色々な考えや感情があるということを学びながら、生徒が周りの目を気にせずに生きていけると思ったから。
- ・上記と同様です。
- ・上と同じ
- ・自分の個性に合うもの。理由 自分の個性に合うものなら一人一人が生きづらさを感じることなく学校生活をおくれると思うから。
- ・制服は自分で自由に選択できるようにして、自由に選択した制服を否定したりしない。
- ・選択性にする 性別と逆の制服を選ぶときに言いだしづらいと思うから

### (2)協議録

・設問2については、主に、制服については、ネクタイやリボンを付け加えるかどうかというあたりと、制服をやめてしまって、私服とするかについてである。ただ、上記で記したように、委員からの私服に対する意見は否定的なものであった。

・ただ、制服の登校ではなく、体操服で登校はとか、靴下とか靴とかを含めて、あるいは、黒以外のセーター、ストッキング、リボンやネクタイといった、人とワンポイントが違ような装いができると学校という抑圧感が軽減するといった意見もあった。

・意見の中では、上記でも示したが、靴下や靴なども、自由では、学習環境という面においてひっかかる点があり、また、すべて選択することは逆に悩むことになるため、複数の選択肢の中から選ぶ形が一番今はいいと考える。例えば、靴下であれば、今は白だけだが、黒、灰色、紺など、靴も、白だけでなく、黒、灰色、紺などはどうかという意見があった。

・設問2の中で、自由(私服)についてもあったので、教師側から、月 1 回自由の日でもどうか？その日は、当然、制服で来てもいいし、体操服でもいいし、私服でも当然いい。そのために、自分たちいい環境にするために、ルールを作っていくのはどう？という話も提案してみたが、生徒は私服について、自由な服ということについては、関心を示していなかった。

・次回、8 月2日発出した、校則の意見集約と、この設問2について、意見を取りまとめていくことになった。

## 2 8月23日会議録

### (1)靴下の規定について

①色……黒、紺、灰色、白

②その他…基本は無地とし、ワンポイントは可とする。

○色を自由にすると、靴下の色によって、見ている側が不快に思ってしまう環境となるなど学習環境としては適さない環境であるため、今日的に常識的な色を選択肢とした。選択肢を設けないと自分で学習環境に合うものを選択しないといけないが自信がない人が多いし、そのことで頭を悩ますことは適切ではない。

### (2)靴

①運動靴とする。

○色の指定まで検討したが、部活動においていろいろな色の靴をすでに履いていること、また、高等学校においては、靴の指定をしていないが、特に問題が起きていないことを考えると、色については、特別指定をしなくても、問題になることはないと考えた。

### (3)登下校の服装について

・意見の中で、体操服での登下校を認めて欲しいとの意見について協議をした。プロジェクトでは、制服について、親が高額の費用をかけて制服を購入したことを考え、できるだけ制服を着る日を確保しないといけないとなった。ただ、部活動の終了した後、部活動の時間を確保したいが、着替えることで十分な時間が確保されていることに鑑み、登校時は制服、下校時は制服か体操服を選択する。としていきたいとなった。体操服で登下校という意見について応えた形となった。

### (4)リボンやネクタイをつけたいという意見に対して

・リボンやネクタイをつけたいという委員からの意見に対しては、同じ意見を示すものは多くなかったが、制服のオプションとして、リボン、ネクタイが可能であるかどうか、業者に聞いてみることとなった。もし可能の場合、登下校や授業はリボン、ネクタイをつけることは可とするが、行事については、リボン、ネクタイを外すこととする。(ただし、入学式については、リボン、ネクタイをつけても良しとする)これらは、リボン、ネクタイを買わない家庭への配慮である。

### (5)ベストについて

①紺色、黒色、白色、クリーム色、茶色、深緑色などのベスト、セーターを着用可とする。

色の指定がなくてもいいのではと質問したが、派手になり、見る側が不快に感じるような色目は避けたいとの議論であった、また、今までの規定では、紺など…とあり、などがあまりにも漠然としてい過ぎたため、選択の範囲が明瞭となるよう色を指定していきたい。

### その他

#### 議論されたこと(生徒の意見)

・どこまで多様性を許容すればいいかという問題があるが、何でも自由というのではなく、生徒が「生きづらさ」を感じているものを中心に見直しを図ることを視点としていった方がいいのではないかと。  
・体操服で登校ということが「生きづらさ」を感じている意見なんだろうか？体操服は、運動するための服装であり、制服は正式の場にふさわしい服装。TPOにあわせて着ていくことが大切だと思う。しかし、体操服で登校というのも理解できる。朝登校時、慌ただしい中、走ってくる人が多い。これは、どちらかという運動に近い。また、部活動の後、着替えることで、部活動の時間が削られてしまっ

ている。部活動の時間を確保するためにも、下校時については体操服というのは効率的だと思う。  
・きちっとした服装、みんな一緒の服装というものに、一種の「生きづらさ」を感じる生徒もいると感じる。その点についても、考慮する必要があるのではないか。ただ、社会に出た時、周りの意見に合わせることを必要とするときもあり、自分だけ個性的なものという考えを押し通すことは適切ではないと思う。

・選択制のものを増やしていくことで、上記の問題について、少し解決を図ることができないか。例えば、「月、水、金は制服登校。火、木は体操服と制服の選択」など、自由度を上げていってもいいかもしれない

・私服については、私服にすることで、何を着ていくか、あるいは、この服を着ていくとどのようにみられるかなど、過度のストレスがかかることになり、私服は賛成できない。

### 「校則の見直しに関する」意見集約

8月23日制服・校則見直しプロジェクト	運動靴や体育館シューズの色を自由性
体操服での登下校を認めてほしい。	もっと詳しく具体的に記さないとうわかりにくい。
靴の色は白以外でも良いと思う。 靴下は黒や紺色でも良いと思う。 防寒具は自己判断で着用するようにすれば良いと思う。	体操服での登下校紺色以外のセーターを着ても良くしたい
靴を白色しかだめというので、白い靴だと足と靴が合わないことがあるので黒などの色の靴でも良いということにしてほしい。	運動靴や体育館シューズの色を自由性
校則というか、昼休みの時間を伸ばしてほしいです	服装などの関係のものを一つでも変えたらいいと思います。(例えば、登下校の服装など)

### <雑感>

・生徒の中で「私服」の議論が行われたが、1年生は私服について肯定的であったが、2、3年生は否定的であった。理由は、普段着ているのが、家でも体操服だったり、部活動の練習着だったりして、自分の個性を(服で)表現しようとするのに慣れていないのが明らかになった。1年生は小学校時、私服で学校生活を送っているため、その違和感がないが、中学校生活に慣れてくると、私服に対して違和感を持ち始める。これは、大きな課題であると感じている。学校で指定した服装が個性を潰してしまっている。あるいは、その感覚を麻痺させている。自分の個性を表現することへの動機づけをどこかでしっかりやってあげないといけないと思う。「今の学校教育が、指示に従う「よい子」を「おとなしい子」を「問題のない子」を「文句をいわない子」を作る場になってしまっている気がする。」・・・これは、おかしい、是正すべきだと是々非々で議論を進められる生徒を育成していかなければいけないと強く思う。

